

第130回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第129回火山噴火予知連絡会（平成26年6月3日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

全国の主な火山活動

今期間（平成26年6月3日～10月23日）、御嶽山、口永良部島、桜島、西之島、阿蘇山、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については別に「御嶽山の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については別に「口永良部島の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。爆発的噴火は8月下旬から増加し、今期間265回（10月13日まで）発生し、噴火による噴煙の最高の高さは火口縁上4,500m、大きな噴石が最大3合目（昭和火口より1,300～1,800m）まで達しました。また、火口周辺にとどまるとごく小規模な火砕流が1回発生しました。

地殻変動観測では、桜島島内で山体が隆起・膨張する傾向がみられましたが、2014年7月頃から沈降する傾向がみられます。また、始良カルデラ深部の膨張は、停滞していますが、長期的には膨張が進行してきており、引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕2013年11月20日に南東海上での噴火が確認された西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続しています。新たな陸地（西之島と接続した新島部分）の拡大の継続が確認されており、旧島のほとんどを埋没させています。2014年10月16日時点で、新たな陸地の面積は約1.85km²になっています。

西之島では噴火活動が継続しており、新たな陸地、旧島及びそれらの付近の海域では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕GNSS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられます。

新燃岳火口直下を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しました。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（平常）〕2013年12月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近で火山性地震が時々発生しています。2014年8月20日に硫

黄山付近を震源とする継続時間約7分間の火山性微動が発生しました。微動の発生に伴い傾斜計に硫黄山の北西が隆起するような変動が観測されました。

えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動が高まっていますので、今後の推移に注意する必要があります。また、噴気や火山ガスなどが突然噴出し、今後状況によっては噴火が発生する可能性があります。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕2014年8月27日以降孤立型微動や火山性地震が増加しています。中岳第一火口では、火口底の一部で赤熱を観測し、中央部付近の噴気孔は温度の高い状態となるなど火口内の熱活動が高まっています。8月30日～9月1日、9月6～7日に中岳第一火口のごく小規模な噴火が時々発生しました。

以上のように中岳第一火口の火山活動が高まっていることから、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しており、2014年5月頃からは湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる全磁力変化がみられています。また、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられます。

以上のように、草津白根山の火山活動は活発化しており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

蔵王山〔噴火予報（平常）〕2014年8月から10月にかけて火山性微動が9回発生し、8月には火山性地震もやや多い状況となりました。火山性微動発生時には、傾斜変動がみられることがありました。10月8日と19日に御釜内において軽微な変色域の一時的な発生が確認されました。2013年1月以降、地震活動の高まりがみられており、過去の活動期には突発的な噴気孔の生成、火山ガスや泥の噴出等の現象もありましたので、観光や登山で近づく際には十分に注意してください。

注) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 地震火山部 火山課（電話：03-3284-1749）

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

アトサヌプリ [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・全磁力連続観測によると、96-1火口南側地下の温度が上がった状態が継続している可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

大雪山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・吹上温泉地区では、2012年からわずかながら認められた温泉のCl/SO₄比の上昇が、2013年4月以降は横ばいからやや減少の傾向を示しています。
- ・ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量及び地震回数の増加や火山性微動の発生、発光現象などが観測されています。今後の火山活動の推移に注意してください。

樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山 [噴火予報(平常)]

- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」以降増加していた八甲田山周辺の地震は、2014年2月頃から減少し、今期間も少ない状況で経過しました。

- ・ 2013年4月から7月にかけて増加した大岳山頂直下の地震活動も、少ない状態で経過しました。
- ・ 2013年2月頃から11月頃にかけてみられていた小さな膨張性の地殻変動は、その後みられません。
- ・ 地獄沼付近の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・ 大岳山頂直下付近の地震活動は低調ながら継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

秋田焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 6月上旬に火山性地震が一時的に多くなりましたが、期間をとおしての火山活動は概ね低調に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも特段の変化はみられません。
- ・ めだけ女岳では、2009年から拡大している地熱域が引き続きみられます。今期間、南東火口でわずかな地熱域の拡大がみられましたが、その他の領域では変化みられず、総じて大きな変化は認められませんでした。
- ・ 地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・ 8月から10月にかけて火山性微動が9回発生し、8月には火山性地震もやや多い状況となりました。
- ・ 火山性微動発生時には、傾斜変動がみられることがありました。
- ・ GNSSによる地殻変動観測に特段の変化は認められませんでした。
- ・ 噴気活動の変化は確認されませんでした。
- ・ 10月8日と19日に御釜内において軽微な変色域の一時的な発生が確認されました。
- ・ 2013年1月以降、地震活動の高まりがみられており、過去の活動期には突発的な噴気孔の生成や、火山ガスや泥の噴出等の現象もありましたので、観光や登山で近づく際には十分に注意してください。

吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 大穴火口の噴気活動は、やや活発な状態が続いています。
- ・ 地震活動は少ない状態で経過し、地殻変動にも特段の変化は認められませんでした。
- ・ 大穴火口等では火山ガスの噴出がみられますので警戒してください。また、大穴火口の風下側でも火山ガスに注意してください。

安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

3 . 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

那須岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

- ・ 2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加していましたが、8月後半からは減少しています。火山性微動は発生していません。
- ・ GNSSによる地殻変動観測では、2014年4月頃から湯釜を挟む基線でわずかな伸びの傾向がみられます。
- ・ 湯釜周辺の傾斜計にも湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。
- ・ 湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。
- ・ 2014年5月頃から湯釜近傍地下の岩石の熱消磁によると考えられる全磁力変化がみられていましたが、7月以降は停滞しています。
- ・ 2014年5月から、北側噴気地帯の硫化水素ガス成分が急減しています。
- ・ 以上のように、草津白根山の火山活動は活発な状態が続いており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・ 山体周辺のGNSSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・ 火山活動は静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。

新潟焼山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原 [噴火予報 (平常)]

- ・ 弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・ 立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意して下さい。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

乗鞍岳 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)] 平成26年9月27日に噴火警戒レベルを1 (平

常)から3(入山規制)に引上げ。9月28日に警報事項を切替え(噴火警戒レベル3(入山規制)は継続)。

- ・ 9月27日11時52分頃、噴火が発生しました。今回の噴火の規模は、1979年の噴火と比較すると若干規模の大きいものと考えられます。
- ・ 気象レーダーの観測によると噴煙は東に流れ、その高さは火口縁上約7,000mと推定されます。
- ・ 上空からの調査によると、噴火は剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東に伸びる火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から約1kmの範囲に飛散しているのが確認されました。
- ・ 火砕流が中部地方整備局設置の滝越カメラにより南西方向に3kmを超えて流下したのを観測しました。その後の調査により、火砕流は火口列から南西方向に約2.5km、北西方向に約1.5km流下したことがわかりました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近で樹木等が焦げたような痕跡は認められませんでした。
- ・ 噴出した火山灰には新鮮なマグマに由来する物質は確認されておらず、今回の噴火は水蒸気噴火であったと考えられます。
- ・ この噴火の11分前から発生し始めた火山性微動は、噴火発生以降、振幅の大きい状態が約30分間続きました。その後振幅の増減を繰り返しながら10月7日頃まで継続しました。
- ・ 御嶽山東麓の水準測量では、2006年から2013年にかけて隆起が観測されていましたが、噴火後の測量で沈降が観測されました。なお、傾斜計でも、噴火発生前の7分前から山側上がりの変化がみられ、噴火とともに山側下がりとなるような変化が観測されました。
- ・ 噴煙の高さは噴火発生翌日の9月28日には火口縁上800mを観測しましたが、その後は概ね火口縁上200~500mで推移しています。
- ・ 地震回数は、噴火が発生した頃はかなり多くなりましたが、10月に入ってから減少して少ない状態になっています。
- ・ 火山ガス(二酸化硫黄)観測によると、噴火発生直後から10月3日頃までは1日あたりおよそ500~1500トンで推移していましたが、その後は1日あたりおよそ100~500トンと減少しています。
- ・ 今後も噴火する可能性がありますので、火口から4km程度の範囲では、大きな噴石の飛散や火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

白山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・ その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。2011年頃から鈍化していましたが、2013年8月頃から再び膨張傾向がみられます。
- ・ 7月23日から25日及び28日から29日にかけて、島北部を震源とする火山性地震が増加しました。この期間に震度1以上を観測する地震が17回発生し、このうち最大の地震は28日17時05分に発生したM3.7(暫定値)の地震で、伊豆大島町元町と静岡県東伊豆町奈良本で最大震度3を観測しました。この地域ではこれまでも何度か地震が多発していますが、2002年以降みられた活動の中では最も活発なものでした。
- ・ カルデラ直下浅部が震源と推定される低周波地震を9月3日10時59分に観測しました。低周波地震の発生は2012年10月28日以来です。
- ・ その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。2014年8月以降、山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

新島 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

- ・ 今期間、噴火は発生しませんでした。噴火は2013年1月22日を最後に発生していません。
- ・ 山頂浅部を震源とする地震は、今期間概ねやや少ない状態で推移しました。
- ・ GNSSによる観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞しています。一方、島の南北を挟む長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、期間中は1日あたり200トンと、やや少量の火山ガス放出が続きました。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺(雄山環状線内側)では引き続き噴火に警戒してください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。

八丈島 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島 [火口周辺警報 (入山危険)] 平成26年6月11日に警報事項を切替え(火口周辺警報(入山危険)は継続)。

- ・ 2013年11月20日に南東海上での噴火が確認された西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出により、出現した新島が拡大し、2013年12月26日には西之島と一体となりました。

- ・ その後も噴火活動は継続し、新たに形成された陸地（西之島と接続した新島部分）の拡大が確認されており、旧島のほとんどを埋没させています。2014年10月16日時点で、新たな陸地の面積は約1.85km²になっています。
- ・ また、2014年10月中旬までに噴出したマグマの量は約7千万m³と見積もられており、マグマの噴出レートは2014年10月現在、1日あたり約35万m³程度です。
- ・ 噴火確認以降、西之島周辺で常に変色水が確認されています。また、西之島南方約10kmあたりでも変色水域が確認されています。
- ・ 西之島では噴火活動が継続しており、新たな陸地、旧島及びそれらの付近の海域では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

②① 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・ 島西部のミリオンダラーホール（旧火口）では、2012年2月以降ごく小規模な水蒸気爆発が度々発生していますが、今期間は噴火は確認されていません。
- ・ 地震は2014年3月からやや多い状態で経過しています。火山性微動は時々観測されています。
- ・ GNSSによる地殻変動観測では、沈降の傾向が2014年1月頃から停滞していましたが、2月下旬頃から再び隆起の傾向がみられています。なお、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・ 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点及びその周辺では警戒してください。

②② 福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・ 変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

4 . 九州地方・南西諸島

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・ GNSS観測によると、一部の基線でわずかに伸びの傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意してください。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] 平成26年8月30日に噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引上げ

- ・ 7月5日から10日にかけて火山性微動の振幅が大きくなり、7月下旬には、孤立型微動や火山性地震が一時的に増加しました。これに伴い火口直下で増圧に引き続き減圧がありました。また、8月27日以降、孤立型微動や火山性地震が多い状態で経過しています。
- ・ 7月17日の現地調査で、中岳第一火口の火口底の湯だまりが消失しているのを確認しました。湯だまりが消失しているのを確認したのは1993年2月25日以来です。
- ・ 7月28日の夜間に実施した現地調査では、火口底の一部（火口底中央噴気孔周辺）で赤熱を観測しました。火口底の赤熱は2005年9月3日以来です。
- ・ 中岳第一火口中央部付近では5月以降期間を通じて高温の噴気孔を確認しました。赤外熱映像装置による観測では、噴気孔の最高温度は8月以降、420～498（5～7月：167～352）と高い状態になりました。

- ・ 南側火口壁の温度は高い状態で経過しました。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、期間を通して1日あたり800~2,200トンと多い状態で経過しました。2014年半ば以降、GNSS観測により草千里の下部にあると考えられるマグマだまりの収縮が、停止していると思われます。
- ・ 8月30日09時頃実施した現地調査で、中岳第一火口の噴火を確認しました。8月31日~9月1日、9月6~7日にもごく小規模な噴火が時々発生しました。
- ・ 火口内の熱活動が高まるなど中岳第一火口の火山活動が高まった状態になっていると判断し、8月30日09時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に上げました。
- ・ 中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。
- ・ 南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

霧島山

新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 新燃岳では、2011年9月7日を最後に噴火は発生していません。
- ・ 火口内に蓄積された溶岩の状態に特段の変化はありませんでした。火口内南東側の火孔の形状にも特段の変化はみられませんでした。しかし、火口にたまった溶岩内部には依然高温状態の部分もあると考えられます。
- ・ 新燃岳直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は2012年3月以降観測されていません。
- ・ GNSS観測によると、新燃岳の北西数km(えびの高原付近)の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられます。
- ・ 新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には泥流や土石流に注意してください。

御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

えびの高原(硫黄山)周辺 [噴火予報(平常)]

- ・ 2013年12月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近の海拔下約0~3kmで、火山性地震が時々発生しています。
- ・ 8月20日に硫黄山付近を震源とする継続時間約7分の火山性微動が発生しました。微動の発生に伴い傾斜計で硫黄山の北西が隆起するような変動が観測されました。
- ・ 韓国岳北東に設置した傾斜計では、2013年12月頃から北西上がりの傾向がみられていましたが、2014年7月頃からやや鈍化しています。
- ・ 火山活動が高まっていますので、今後の推移に注意する必要があります。
- ・ えびの高原(硫黄山)周辺では、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後状況によっては噴火が発生する可能性があります。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・ 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・ 爆発的噴火は、8月下旬から増加し、8月は76回、9月は99回、10月は13日までに13回で、期間中（2014年5月から10月13日）の爆発的噴火の回数は265回で、うち6回で大きな噴石が3合目まで達しました。噴煙の高さが火口縁上3,000m以上の噴火は9回発生し、最高は火口縁上4,500m（5月10日13時7分の爆発的噴火と6月6日13時11分の爆発的噴火）でした。火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が1回発生しました。
- ・ 南岳山頂火口では、5月8日～10日、7月28日、9月7日にごく小規模な噴火が発生しました。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、1日あたり1,200～2,500トンと概ね多い状態が継続しています。
- ・ 鹿児島県の降灰観測データをもとに解析した火山灰の月別の噴出量は、5月～9月は1ヶ月あたり10万トン～60万トンでした。
- ・ 島内の傾斜計では、2014年1月頃から山体が隆起、膨張する傾向がみられていましたが、7月中旬頃から山体が沈降する傾向となっています。
- ・ 火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2014年2月以降停滞していましたが、6月頃一時的に増加し、その後減少しました。9月頃からは再び増加に転じています。
- ・ GNSSによる地殻変動観測では、島内で2014年1月頃から伸びの傾向がみられていましたが、7月頃から停滞しています。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2013年6月頃から停滞していますが、長期的には膨張が進行してきています。
- ・ 昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル3、入山規制）] 平成26年8月3日に噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げ、8月7日に噴火警戒レベル3（入山規制）を切替

- ・ 8月3日12時24分頃、新岳で噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上800m以上上がりました。このため、8月3日12時50分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げました。
- ・ 8月3日に発生した噴火は、火山灰を分析した結果、マグマが直接関与していた可能性があることがわかりました。今後、マグマが関与した噴火が発生した場合、火砕流が発生する可能性があることから、8月7日10時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替えました。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、1日あたり200～500トンと、噴火前（1日あたり100トン未満）よりも多い状態で継続しています。
- ・ 火山性地震や継続時間が短い火山性微動は時々発生しています。

- ・ 新岳火口から概ね 2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。
- ・ 向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。
- ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。
- ・ 降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・ 御岳火口では、爆発的噴火が 6 月に11回発生し、その後も噴火が時々発生しました。
- ・ 8 月28日12時50分に発生した噴火では、灰白色の噴煙が火口縁上2,000mまで上がり、9 月 3 日10時49分に発生した噴火では、灰白色の噴煙が最高で火口縁上2,200 mまで上がりました。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

注) 噴火警戒レベルは平成26年10月23日現在、30火山で運用しています。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	雌阿寒岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年9月29日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報(平常) 2008年11月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常)
	大雪山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年12月16日 噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	八甲田山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	秋田焼山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年7月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年10月27日 噴火予報(レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	蔵王山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	吾妻山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	浅間山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報(レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
乗鞍岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)	

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	御嶽山	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年11月20日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日 火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日 火口周辺警報(入山危険)切替
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島			2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	薩摩硫黄島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2013年6月4日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日 噴火予報(レベル1、平常)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報(平常)を発表し、その後、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報(平常)を発表しました。

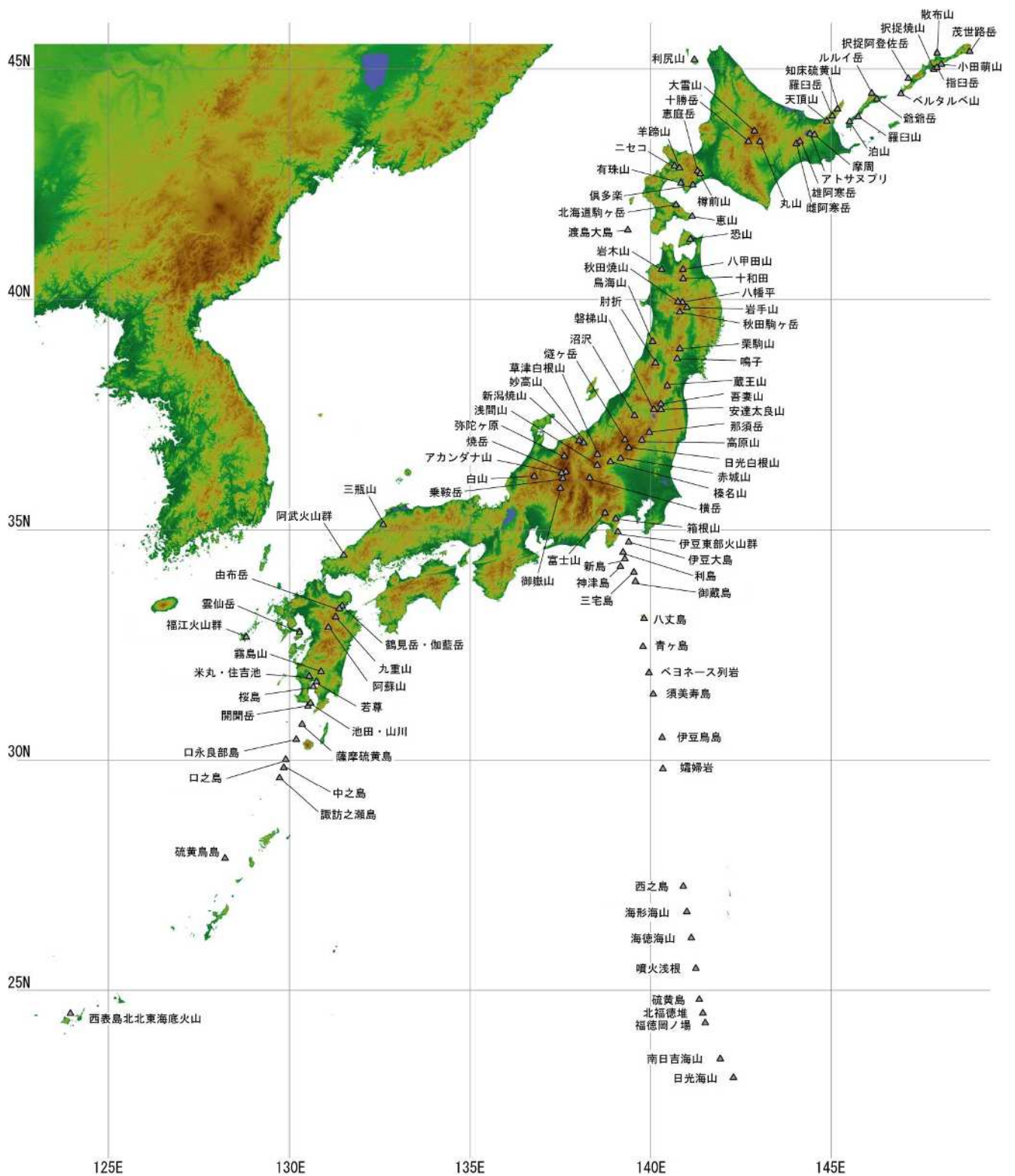


図 全国の活火山分布